

西成連区地域づくり協議会だより

通 巻

第 15 号

発行日：平成二十二年六月一日

発行者：西成連区地域づくり協議会

一宮市小赤見字郷浦五三（一宮市西成出張所内）

電話：28—9002

西成連区地域づくり協議会の総会で決まる 敬老会は敬いと親しみを持たせ実施 一斉ごみゼロ運動で連帯の意識高揚

西成連区地域づくり協議会では、一宮市の市民と行政が一体となって協働する「新しいコミュニティづくり」のモデル地区第1号に指定されて、具体的な提言・提案をするはじめての総会が4月30日（木）午後7時から、西成公民館2階の大会議室に、西成連区選出の市議会議員をはじめ、協議会関係者80名の出席を得て開催された。

当日は、寺澤会長を初め来賓の挨拶に続き、平成20年度の事業報告や会計報告をし承認を得たあと、会則の改正について提案理由を説明し承認を得た。

設立当初は、右表のように西成連区の各種事業に対応できるように、具体的な名称を付した6部会を設置し、部会員の所属についても、一方的に関連団体を勘案し配置させていただき、提言・提案をいただくようお願いしてきましたが、この改正では部会名を簡略化し、所属についても自由に選択していただき、それぞれが英知を持ち寄り、より良き提言・提案事項がまとまるよう改正しました。

また、付則の削除については、設立当初の役員任期を平成21年3月31日までと定めた条文を削除しました。

役員の選任については、西成連区地域づくり協議会もやっと始めての具体的な提案ができる状況でもあり、協議会の設立目的が確立するよう、原則的に全員が留任、ただし、健康上の理由で退任される吉田守久氏に代わり浅井孝行氏（共に赤見校下）が監事に就任することで承認された。

平成21年度の事業計画と予算案については、西成連区で実施されてきた各種事業を見直し、例えば敬老会については、長寿者の目線に合わせた、親しみの持てる会場を設定し、敬いと感謝の念が伝わる事業に改正するほか、高齢者教養講座についても4校下（瀬部・西成・赤見・浅野）の域を超えて参加（事前申し込み）できるよう検討している。

また、ごみゼロ運動については、西成連区がすべての組織が一致団結し、一斉に実施することにより、西成の連帯意識が高まることを期待しているほか、交通などの安心安全な地域づくりや健全な街づくりを、積極的に推進することになった。

予算については、一宮市の補助金など総額10,544,000円を計上し、事業費に10,188,000円、会務費と予備費356,000円を予定している。

会則の改正点

①部会名の変更

地 域 福 祉 ⇒ 地域福祉
生活・環境・衛生 ⇒ 生活環境
交通・防犯・防災 ⇒ 安心安全
健 全 育 成 ⇒ 健全育成
地域振興・保全 ⇒ 地域振興
広 報 ⇒ 広 報

②付則の削除

協議会の設立当初の役員任期を平成21年度末と定めた付則を削除

西成を学び 西成の良さを知り 西成のために みんなの英知を集めよう！
熱き郷土愛を育み 西成の連帯の輪を築こう